

神さま、私は自分の人生にとって愛されることがいかに必要かがわかりました。しかし、自分は愛されることを求めながら、人を無条件で愛することができません。確かな愛はあなたの中にだけあり、しかもこんな私さえ愛して下さることを感謝いたします。ほんとうの愛を私の心にも与えてください。

郵便はがき

241-8501



横浜市旭区上川井町846  
VOPバイブルスクール行

ご意見、ご感想をお書きください。

ツッキングな出来事。家庭崩壊、一家心中が他人事とは思えない状況でした。

### 真実な愛との出会い

転機はおかあさんの恵子さんが、キリスト教系の食品事業「三育フーズ」に勤めたことから訪れました。職場の同僚との接触、祈りによって、ほんとうの愛を見失ってしまった人類に真実な愛を示すために世に來られた神の御子、イエス・キリストの愛に出会い、恵子さんは救われたのです。

聖書には、「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さい、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわした。ここに愛がある」(ヨハネの第1の手紙4章10節、口語訳)とあります。

神の愛にそむく罪人を救うために、自らを十字架にささげてまで、人間に愛とゆるしを与えられるキリストの無条件の愛に触れて恵子さんは変えられていきました。前述の自分の体験を記した本の結びに、恵子さんは次のように書いています。

「今、私にとっての隣人、聡子があるがままに愛することがようやくできるようになった。とてもいとおしいほどに、娘の大きな叫び声も、勝手に動いてしまう体も、すべてをそのまま受け入れることができるのである。……隣人を愛するとは、このイエスさまの自己犠牲の愛を受けることによって、私たちが造り変えられた結果、なしうる行為である。人間の愛では、どんなにも数多くの努力を積み上げたところで、隣人を愛することは不可能であろう。」

愛の足りないわたしたちを、ほんとうの愛でもって救うことができるのはこのお方です。

ほんとうの愛は  
どこにも  
失っているところに  
人間の問題の本質があるのです。



VOPバイブルスクール

〒241-8501 横浜市旭区上川井町846

メールアドレス : info@vopjapan.net

<https://vopjapan.net/>

## 一人では生きられない人間

「わたしは人の世話にならない。自分一人で生きていく」などと言うことがあったとしても、それはあくまでも言葉のあやで、実際だれの世話にもならず生きていく人間など、一人もいないのです。人間は読んで字のごとし、人と人との間柄、関係の中にあつて、はじめて人間となるのです。どのように人との関係を結ぶかが重要で、よい人間関係を持っていない人は、豊富な物に囲まれていても、心はみたされないので。

宇宙にたった一人しかいない自分を自覚できる人間は、自分を自分として認めてほしい、自分に付随した何かではなく、素の自分そのものを受け入れてほしいという願いを持っています。あるがままのその人をまず受け入れ、たいせつにすること、それが人をかけがえのない人格として愛することなのですが、なかなかそれができないのです。

## 人間の愛の限界

一口に「愛」といっても種類があるようで、偽りの愛についてイエス・キリストは次のように言われました。

「自分を愛してくれる者を愛したからとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、自分を愛してくれる者を愛している」(ルカによる福音書6章32節、口語訳)。

互いに傷つけあう人間の罪の問題は、自分の利益になる者しか愛そうとしない人間の自己中心性があるとイエスは看破されました。ほんとうの愛を失っているところに人間の問題の本質があるのです。さまざまな条件をつけて、その条件にかなう間は愛しますが、条件に合わなくなれば、愛もなくなります。相手を受しているように思っていますが、結局自分を愛しているにすぎないので。

親の愛は無条件のようにいわれますが、やはり自分のめがねにかなう、能力、容姿、性格を持った自慢の子ほどかわいいのです。親の意に反する行動を取り続ける子を愛するのは容易なことではありません。

## 愛が試されるとき

世の中には、わたしたちの想像もつかないむずかしい病があります。聡子ちゃんはその名の通り聡明な女の子でした。6歳のとき、初めて自転車に乗れたうれしさから「アツ、乗れた！」と叫んだのが始まりで、それ以後本人の意思と関係なく突然大きな声が出る病気に悩まされるようになります。「ママ、止めてよ。のどが痛いよ」と泣きながら訴えられても、家族はオロオロするばかりでどうしてあげることもできません。そのうちそれに卑猥な言葉や、舌を長く出す動作が加わるようになりました。普段は明るく、愛らしい子なのですが、いつどこで奇妙な行動が始まるのか、本人にもわからないのです。学校の先生をしているおとうさんとすれば、世間体もあり、とても聡子ちゃんを連れて家族で外出するどころではありません。家族から笑いが消えていきました。大学病院でみてもらったり、拝み屋さんに拜んでもらったりしましたが、らちがあきません。

聡子ちゃんが、中学、高校と年齢が進むにつれ、酒、タバコ、万引き、妊娠、覚醒剤、母親への暴力と問題はエスカレートしていきました。おとうさんも「自分が聡子を連れて、いつそのこと車で自爆すれば、みんなの苦しみも終わる」と口走るまでに追い込まれていきました。おかあさんの恵子さんは、当手を振り返って、その著『ママ、私の声をとめてちょうだい!』(文芸社)の中で次のように記しています。

「苦しかった。聡子の親であることが非常にせつなかった。すべてを投げ出してしまいたいほどに……。だが、私たち以上に娘はもっともつと苦しかったのだ。……支えきれなかった。両親揃っていながらも、聡子の病を、聡子自身をも負いきれなかった。そんな情けない私たちに、娘は見切りをつけてしまったかのように、悪の道へと真逆さまに落ちていったのだ。たった一人で!」

現代医学をもってしても治療法のない病氣、娘が次々に引き起こすすさまじいほどにシヨ(裏面へ続く)

問題1. 人間はどんな願いをもっていますか。

問題2. 人間の愛の特徴は何ですか。

問題3. 本物の愛はどこに見つかりますか。

問題4. あなたは真実な愛をいつもどこに見いだそうとしてきましたか。

VOPバイブルスクール入門講座・答案用紙

5

黒のペンでいねいにご記入ください。(□の中に印をつけてください)

解答1  豊富なものに囲まれること  
 あるがままの自分が受け入れられること  
 自分一人で生きていくこと

解答2  条件付  
 無条件  
 利益を求めない

解答3  自分の心の中  
 おかあさんの中  
 イエス・キリストの中

解答4

フリガナ  
お名前

登録番号

ご住所 〒

TEL

( )